

校長通信（3月号）

March 21st / 2025 / VOL 030

令和6年度 修了式 式辞 『やってみる』

校庭の梅の木も花を咲かせ、春の足音が少しずつ聞こえる季節となりました。昨年4月にスタートした令和6年度も終わりを迎えようとしています。時間こそあつという間でしたが、16歳、17歳の1年間ほど濃密な時間はありません。ここでぜひ、自分の中で振り返って考えてもらいたいと思います。この1年で何を学びましたか。何を経験しましたか。誰と出会い、自分の中で何が変わりましたか。

人に限らず、生き物が成長するということは、自分の中で変化していくということです。私たちは、常に変化するために学んでいます。変わるために学び、変わるために本を読み、変わるためにさまざまな体験をしていきます。特にこの高校生活は、最も変化が大きく、最も成長する時期となります。何気ない日常を過ごしているようで、確実に成長をしています。過去を振り返ると、あの時は良かった、あの頃の自分は良かったと感じる人もいますが、それは事実ではありません。今の自分が最高です。日々の生活の中での学びや経験が今の自分をつくり、さまざまな人との出会いが自分を強くしています。1年前の自分より、1か月前の自分より、昨日の自分よりも、今日の自分です。そして明日は、さらに良く、さらに強くなっていきます。大切なことは、自分の中で何が変わったのか、何が良くなったのかを正しく理解すること、そして自分の中のまだまだ足りない部分や、考え方の癖や傾向といったことを、客観的に分析できていることです。

さて、1年間を通し、いろんなことに挑戦したと思いますが、どれもがうまくいったとは限りません。思った通りにいかなかったこと、残念な結果で終わってしまったことも中にはあったかもしれません。いわゆる「失敗した」ということになりますが、失敗した経験からみなさんはたくさんのことを学んだはずですよ。なぜうまくいかなかったのかを考えるきっかけとなり、自分の弱さと向き合う機会になったはずですよ。失敗が自分を成長させ、失敗が自分を強くしてくれました。成功することと、失敗することは反対の関係でとらえられがちですが、成功の反対は失敗ではありません。成功の反対は「何もしないこと」です。何もしなければ、何も生まれません。何も生まれなければ、何も変わりません。うまくいこうが、失敗になろうが、まずやってみることで。

私自身、思い返してみれば、失敗だらけの人生です。うまくいったと思えることは正直なところ、ほぼありません。成功を経験するどころか、失敗と挫折ばかりで、決して胸を張れるような人生を送っていません。30歳を迎え、それまでの人生を振り返った時、失敗したことが多すぎて、本当に情けなくなりました。周囲に比べて自分はなんてダメな人間なのだろうと。この年齢になって、なんでこんなどうしようもない人間なのだと。しかし、同時に、あることに気づきました。もしも、こうした失敗や挫折した経験がなかったとしたら、自分の人生がどれほどつまらないものなのかを。情けなく、みっともない、恥ずかしいと思う気持ちもありましたが、今では笑えるものばかりです。そして、もう一つ大切なことに気づきました。苦しかった時、本当にたくさんの人が支えてくれました。失敗を笑い飛ばしてくれる仲間が自分にはいる。この人たちが周囲にいてくれること、それが自分の人生で最高の成功だったのだと気づいた瞬間でした。今でも相変わらず失敗ばかりですが、たくさんの人に支えられながら、まずはやってみることを続けています。

4月からは新しい一年が始まります。挑戦と失敗に溢れた一年にしてほしいと思います。100回挑戦して、100回失敗して、101回目の挑戦ができる人になりましょう。そして、本気で挑戦し続ける仲間を、本気で応援していきましょう。

離任式 7名の先生が御殿場西高校を卒業しました

3月21日(金)の離任式で、7名の先生の離任が発表されました。御殿場西高校を支えてくださった先生方とのお別れは、生徒の皆さんと同じように、私たち教職員もとても寂しく辛いものです。「人は出会い」という言葉が、私は好きです。出会いで学び、変わり、人は成長していくのだと教わりました。先生方との出会いを通して、私たちはたくさんのことを学ばせていただきましたよね。先生方のますますのご活躍を心よりお祈りしております！

- 田中 航(副校長 / 英語科)
- 杉山 繭子(学年 / 国語科 / 美術部 / AAE委員会)
- 望月 裕太(数学科)
- 清水 新一(理科)
- 齋田 三雄(英語科)
- 内山 美智子(情報科)
- 藤元 光世(スクールカウンセラー)



KICからキャサリン校長が来校

3月11日(火) オーストラリアの系列校Kardinia International College (KIC) とオンラインでの交流会 GoKICを開催しました。今回は多くの1年生が参加してくれました。GoKICといえば、コロナ禍で国際交流が制限される中、苦肉の策としてあみ出した打開策。オンラインでの英会話、バーチャルホームステイ、小学生も交えた交流会など様々なシーンで活躍しています。遥か彼方の海の向こう南半球のKICの生徒たちと、こうして交流ができるなんて、本当にすごいことですよ！しかもタダでできてしまうなんて。距離はもはや関係ありませんね！



スクールドッグを派遣します！

1月31日(金)の放課後、スクールドッグのアンディ君と生徒たちが、富士山麓病院を訪問し、高齢者の方々との交流を行いました。

御殿場西高校のアイドル的な存在のアンディ君は、生徒たちと毎日のふれ合いを通して、癒しの場をつくっています。この温かく優しい時間を学校外の方々にも届けていきたいということで、近隣の介護福祉施設や小中学校をスクールドッグと生徒が訪問していきたいと思っています。



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。3月に入り、寒さは続いています。校庭の梅の木も咲き始め、春の訪れを感じる今日この頃です。

もうまもなく1年が終わろうとしています。3学期に入り、3年生もいなくなった少し静かな学校で、1、2年生が少しずつ変わってきているのを感じます。「次年度0学期」として位置付けた今学期を、生徒たちもその意味を感じながら過ごしてくれているのだと思います。学業も部活動も生徒会等の活動も、これまで以上に出番が増え、成長を感じる場面も多く見られました。

そんな生徒たちにとって、家庭の存在はとても重要だと思います。素の自分でいられる安全基地。どんな自分でも受け入れてくれて認めてもらえる温かい場所。この1年間、生徒たちを支えてくださりありがとうございました。また来年度もよろしくお願いいたします。

